

【来日に関する予備交渉の経過】(該当する項目にチェックすること。補足説明等があれば、自由に記載して良い。)

1. 候補者との関係

- 直接の面識がある。
 - 現在、継続的に共同研究を行っている。
 - 以前、共同研究を行ったことがある。
 - 研究室訪問、学会、シンポジウム等で知り合った。
 - その他()
- 直接の面識はない。
 - メール等で継続的に研究成果等のやり取りをしている。
 - 共同研究者等から紹介された。
 - 申請者が候補者の研究を知り、連絡を取った。
 - 候補者が申請者の研究を知り、連絡を取ってきた。
 - その他()

(補足説明)

2. 招へい計画に関する事前交渉の状況

- 十分行われている。
- ある程度行われている。
- これから行う予定。

(補足説明)

3. 過去の来日歴(来日年、来日目的等)

過去5年間に採択された学振の国際交流事業と今回の申請に密接な関係がある場合、補足説明欄にその旨を明記すること。

記入例：

- ・直接の面識は無いが、二国間交流事業を通じて親しくなった研究者から優秀な研究者がいると強い推薦を受けた
- ・過去にも招へい事業を利用して共同研究を行ったが、引き続き研究を行うことにより多くの学術的成果が見込まれる
- ・学振助成による派遣事業により当該分野の学会で知り合ったことをきっかけ

【外国人招へい研究者と協力研究計画の概要と意義】(講演・講義がある場合には、その計画についても記載すること。)

【外国人招へい研究者(氏名

)の研究の独創性と特筆すべき業績】

【外国人招へい研究者と受入研究者(氏名

)との研究上の関係と協力研究による学術の進展への期待】

【外国人招へい研究者の受入体制】(該当するものにチェックすること)

1. 外国人招へい研究者に与える身分又は名称等 ()
2. 図書館等の機関内施設の便宜を 与えない、与える
3. 研究室内で場所を与えることが できない、できる
4. その他機関内での処遇便宜供与 ない、 ある()

【宿泊施設の見通し】

- ない
ある ()